

ISSN 0385-7476
SSK

144
1996
July



その研究と情報

1 特集◎

統一英語点字コード制定の動向

日本点字委員会・点字科学記号検討資料編纂会

16 ルポ◎

市民と行政の掛け橋に

バリアフリー社会を目指して活動する新潟市議の青木学さん
立花明彦

24 talk to talk◎

公的介護保険と障害者Ⅰ

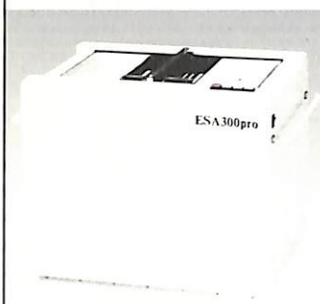
32 ボランティア最前線◎国際共通語・エスペラントの専門点訳グループ
エスペ란ティスト点訳奉仕会 片岡由規子・伊藤順子

38 視覚障害者と射撃 北欧を訪ねて(最終回) 鈴木克子

46 インフォメーション・コーナー

盲人用情報機器シリーズ

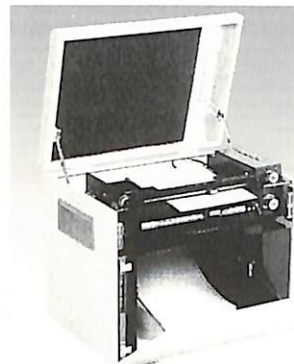
品質の良さは納入先に表れます。



ESA300Pro
点字ラインプリンタ
1ページ5秒!
最高速の業務用
点字ラインプリンタ

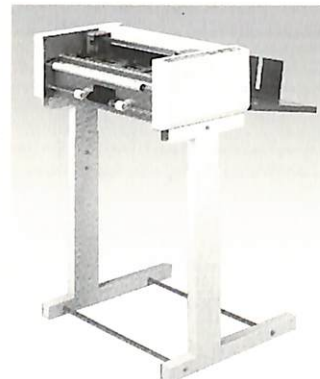
日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上がります。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ
点図表現も思いのまま。
定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、3点方式による点作図プロッタ機構（世界初）の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



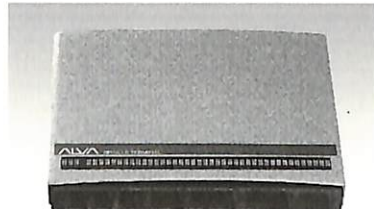
ページエンドと片耳（両耳）カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様
机の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ALVA BRAILLE TERMINAL
ABT-340 (40+3キャラクター)
世界標準にアクセスできる
点字用ピンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。



JTR Corporation

有限会社 ジーエイ・ティール
東京都板橋区前野町3-48-1

Tel.03-3967-6606 Fax.03-3969-5861

福島智さんに吉川英治文化賞



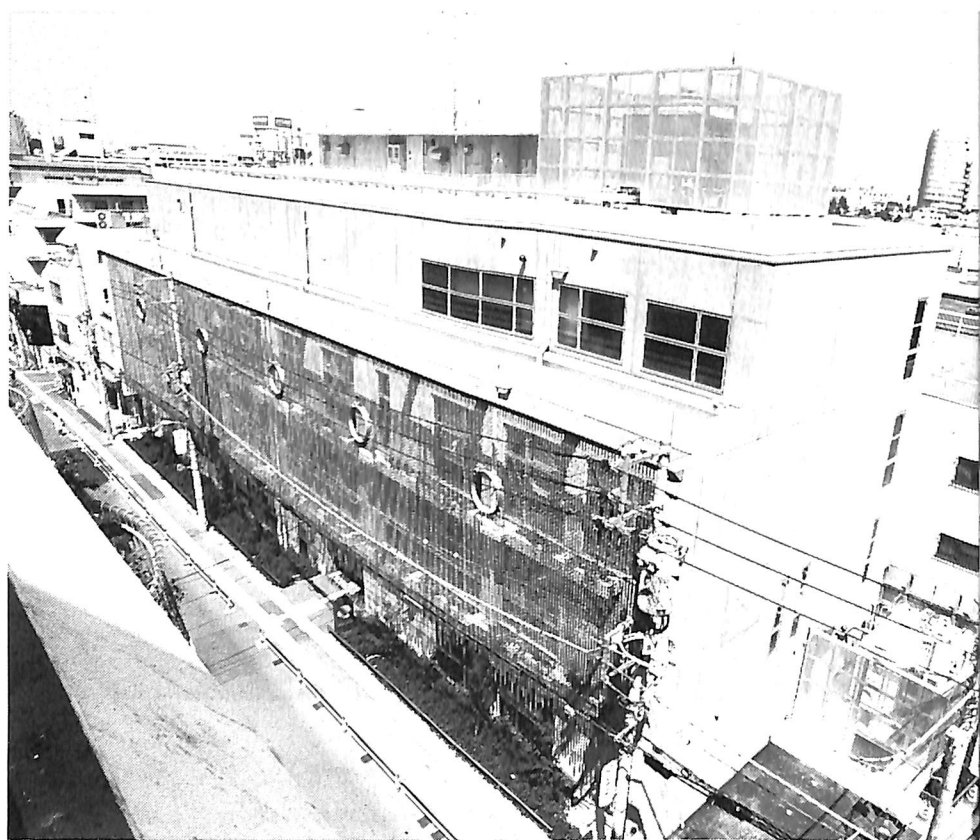
前号のインフォメーションコーナーでもご紹介したように、全国盲ろう者協会理事で、東京盲ろう者友の会会長の福島智さんと母親の玲子さんに第30回吉川英治文化賞が贈られました。この賞は、日本文化の向上につくし、賛えるべき功績をあげながらも報われることの少ない人を対象に贈られる賞です。

写真は本年4月11日、東京・帝国ホテルで行なわれた受賞式。

福島さんは、7月1日付で盲ろう者としては初めて母校の東京都立大学人文学部助手に採用され、研究者としての新たなスタートを切りました。

(写真提供：福島智さん)

東京・高田馬場に斬新的ビル誕生





これが日本点字図書館第1期改築工事で完成したビルです。地上4階建ての3階部分から2階にかけての窓の外には520本の鎖が垂れ下がっていて、その総重量は約26トンになります。タイルや塗装に代わる外壁の装飾で、他に例のない初の試みです。

来館者の多い用具コーナーは1階に、図書館サービスとしての貸出、レファレンス、個人点訳・朗読希望のカウンターと閲覧室は2階に設けられています。

なお、第2期工事にあたる別館の改築は8月から着工。この間、出版事業部と図書館事業部点字制作課は下記の仮事務所に業務を行なっています。

仮事務所：〒176東京都練馬区桜台6-33-27、 Tel 03-3993-9841
・9843

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

米国では、インターネット・アクセスの後遺症として若者の間にコミュニケーション障害が発生していると聞きます。長時間コンピュータに向かうことで、通常の生活において自分の思いや意見をうまく言葉に表現できなくなる、集団になじめなくなるものです。いくつかの大学では、治療のためのカウンセリングを始めたとか。

ところは東京、ラッシュ時の駅、発車間際の列車に乗ろうと走ってきた若者が前を歩く者を抜こうと、相手の肘をノックしてどかし、無言のままかけて行きます。こんな場面に2、3度出会いました。思えば、一般の人同士の衝突でも口論になる前に刃物などの凶器が出て傷つけてしまう事件をよく耳にします。確かにファミコンに始まり、インターネットの普及など日本の環境も米国に似たところがあります。コミュニケーションがうまくとれない社会、それは視覚障害者にとってとても住みにくい環境です。文明の進歩の一方で、人が人らしさを失っていく感じを受けるこのごろです。

(立花明彦)

視 覚 障 害 1996年 7 月 No. 144

年間講読料 4,200 円 (送料とも)

発行日 1996年 7 月 1 日

編集人 立花 明彦

(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒167 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号

Kei ビル3階

電 話 (03) 5310-5051 (代)

FAX (03) 5310-5053

振替口座 00160-4-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧 6-26-21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平 2-9-13

電話 03(3624) 6111 (代表)